



しらき こうへい
白木 紘平

岩国市役所職員

応募のきっかけは？

岩国市出身で、着任前は広島県のメーカーで主に製品開発に従事していました。自然環境を良くしたい想いで働いていましたが、現地での災害ボランティアをきっかけに、地元での地域貢献への意識が芽生えました。岩国市と柳井市にまたがる「岩柳地区」は、学生の頃から度々訪れる身近な地域。自分の趣味である自転車だけでなく、伝統工芸品である金魚ちょうちんを使った町おこしに興味を抱きました。

どのような活動をした 思っていましたか？

活動内容は大きく分けると「既存の行事を手伝う」「新たな魅力の発見」「発信する」の3つです。その中の1つに広域ルート開発があり、しまなみ街道のように走りがない道、美味しい食べ物を紹介し、人を呼び込みたいと思っていました。

着任してみて、想像と違って ありましたか？

想像以上に自由に使える予算がなかったこと。それがきっかけで既存のものに手を加えることや、協力したいと思っている人を繋ぐヒントになりました。写真のリーフレットは既存のイラストをもとに英語版を作成したものです。



任期中に作成したリーフレット



印象に残ったことはありますか？

自転車イベント「サザンセトロングライド」の開催に合わせて、地元小学校とコラボして選手への「応援バナナ」を作ったことですね。子どもたちがすごく真剣にメッセージを書いてくれて、テレビ取材も入り、みんな大喜び。その後、小学校で3度出前授業をして、先生体験をさせていただきました。



先生体験



大変だったこと、それを乗り越えて成長した点など教えてください

任期終了後に岩柳地区に定住することが目標だったので、任期中にどう実績を作るか悩んでいました。自分の活動を見える形にするためたどり着いた答えは情報発信。日々ブログを更新、月一で瓦版、時には新聞のコラムも書かせていただきました。業務内容は多岐に渡っていたためネタは豊富でした。文書作成は苦手ですが、継続する根気がついたと思います。



任期中発行「協力隊通信」

現在、そしてこれからについて

現在は、運よく募集のあった岩国市役所で働いています。前職や学生時代に学んだことを活かしていますし、災害対応を行うこともあり、使命感を感じています。今後は、岩柳地区は純粋に自転車が楽しめる場所だと思うので、その魅力を伝えていきたいですね。

協力隊を目指す人や後輩へのアドバイス

協力隊の活動の自由度には地域差があるのが実情です。だからと言って腐っていても何も残りません。共感できる仲間を増やすと任期後も楽しいですよ。

しらき こうへい
白木 紘平さん

▶ 協力隊として

| 着任地 | 柳井市(柳井商工会議所)

| 活動期間 | 2016年10月～2018年3月

| 活動内容 | 柳井市全域の観光振興に関する業務

▶ 現在の仕事 岩国市役所職員



白木さんのあゆみ

2006.4 ○ 広島の木材メーカーに就職

木の活用で温暖化防止に繋がりたいと意気込む

2014.8 ○ 広島豪雨災害のボランティアとして活動

地域貢献への意識が高まり、山口へ戻る気持ちに

2016.10 ○ 協力隊着任

地域の活動に協力するとともに、ブログなどにより地域の魅力を発信

「サザンセトロングライド」で地元小学校とコラボ

2018.3 ○ 協力隊卒業

2018.4 ○ 岩国市役所に就職